

〈NGO・外務省定期協議会 2019年度第2回 ODA 政策協議会 議題提案書〉

1. **議題案名**: CSOを通じたODAのあり方について
2. **議題の背景**:
日本のCSOを通じたODAの支出は、2019年に経済協力開発機構(以下、OECD)が公開したデータによると、諸外国に比して著しく低くなっている(1.8%、2017年)。
3. **議題に関わる問題点(議題に上げたい理由)**:
より質の高い効果的な開発協力を進めていく上で、CSOを通じたODAを拡充する必要があるのではないか。
4. **外務省への事前質問(論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係などがあれば)**:
OECDが2019年5月に発効した『Enabling Civil Society for Sustainable Development: Select Survey Findings』によると、22か国がCSO支援策を持っている。日本の場合、「開発協力大綱(III(2)イ(オ))」が日本のCSO支援政策として記述されている。今後、CSOに特化した政策を作成する必要があると考えているかどうか。
5. **議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと)**:
※外務省からの事前質問の回答によって変更することは可能です。
 - ① 日本のCSOを通じたODAの支出は諸外国と比較し著しく低い、そのような現状を外務省はどのように捉えているのか。
 - ② ODAの予算が限られている中で、より質の高い効率的な開発協力を進めていくために、CSOをいかに活用・支援していくべきか。

- 氏名: 公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
- 役職: 専務理事・事務局長
- 所属団体: 棚田雄一
- 連絡先(電話、Emailアドレス、スカイプアドレス): Yuichi.Tanada@plan-international.jp

以上